

芸術身体教育コース(音楽教育系) 履修モデル

※つきの科目:2019年入学者の科目です。 つきの科目(教育課程と学力形成):2018年以前入学者の科目です。

			1年次		2年次		3年次		4年次		その他のメッセージ			
科目区分			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
全学 共通 教育 科目	人間形成科目部門	生涯 知識 を 養 い ま す 。 能 力 を 上 げ る た め の 学 び	生活と健康Ⅰ・生活と健康Ⅱ 【大学基礎・キャリア形成科目】		別表2									
	語学教育科目部門		英語A・英語B 【未習外国語】初級Ⅰ・初級Ⅱ		総合英語		英語リーディング・ライティング		別表3・4・5・6・7					
	教養教育科目部門		日本国憲法		【教養発展科目】※		別表13－1							
	選択科目				【人文科学】【社会科学】【自然科学】【健康科学】1科目ずつ選択(8単位)									
			全学共通教育科目から自由に2科目(4単位)選択		自発的教養科目や国際理解科目も含まれます。		別表1							

得られる能力:

人や社会への関心、他者との協働、教職への熱意、教職教養、子ども理解、授業力・実践的技能、教科等の専門教養、持続的変態力
音楽科教育や各専門領域について幅広く学び実践する力、音楽の教材研究や授業づくりに関する能力

卒業後の主な進路:

小学校教諭、中学校教諭、
進学(教職大学院等)

学部共通		卒業要件に 加え、小・中・高1種(音楽)と、 履修モデルです。	学部入門ゼミ 情報科学入門及び実習 初等理科実験	学部共通科目	第2表								
教職に関する科目	教育の基礎理論 教職の意義等 教育課程に関する科目	生涯発達教育心理学	教育の現在 現代教職論 児童期心理学	教育課程臨床論 青年期心理学	特別支援教育論※ 教育課程と学力形成※				学校制度・経営論				
	生徒指導、教育相談及び 進路指導等に関する科目	道徳教育指導論		学校教育相談論	総合的な学習の時間の 指導法※ 特別活動論 授業分析論 学校臨床心理学								
	教育実習 教職実践演習					教育実習(小または中) 授業設計論	教育実習(中または小) 授業実践論				教職実践演習		
	教科の指導法に関する科目	初等家庭科教育法 初等体育科教育学	初等国語科教育学	初等音楽科教育学 初等理科教育学	初等社会科教育学	初等数学科教育学 初等生活科教育学 初等家庭科教育学	初等図画教育科教育学 初等外国語科教育法※						
				中等音楽科教育法Ⅰ		中等音楽科教育法Ⅱ 音楽科教育演習Ⅰ	音楽科教育演習Ⅱ						
コース専門科目	教科に関する科目	算数科内容論 教科専門科目(小学校)	家庭科内容論 第8表	国語科内容論	音楽科内容論 理科内容論	体育科内容論 社会科内容論 生活科内容論	図画工作科内容論 外国語科内容論						
	専門科目	声楽実習Ⅰ ピアノ演奏演習Ⅰ 作曲基礎演習Ⅰ 合唱Ⅱ 音楽基礎研究 管弦打楽器演習Ⅰ,Ⅱ	ソルフェージュ基礎 作曲基礎演習Ⅱ 管弦打楽器実習Ⅲ コンピューター音楽 ピアノ演奏演習Ⅱ 合唱Ⅰ 声楽実習Ⅱ	ソルフェージュ実習 ピアノ実習Ⅰ 音楽理論Ⅰ レコーディングスタジオ概論 合奏法 声楽演習Ⅰ 指揮法	邦楽器実習 音楽理論Ⅱ 楽曲分析 音楽史Ⅰ ピアノ実習Ⅱ 鍵盤音楽演習 日本伝統音楽演習	ピアノアンサンブルⅠ 音楽史Ⅱ 現代音楽演習	ピアノアンサンブルⅡ	歌唱芸術演習	ピアノ特講 声楽特講 音楽学特講 作曲特講 (特講:ゼミ生のみ)		卒業論文		
	資格に関する科目	司書教諭	第15表			学習指導と学校図書館 学校経営と学校図書館 学校図書館メディアの構成	情報メディアの活用 読書と豊かな人間性						
	日本語教員		日本語教育概論	日本語教授法 日本語の音声・音韻 日本語の文法 日本語の文字・表記・語彙	社会言語学	言語習得論/言語心理学		日本語教育実習Ⅰ	日本語教育実習Ⅱ				
				その他の取得可能な教育職員免許状及び資格									

音楽科の学習指導内容である4つの領域「歌唱」「器楽」「創作」「鑑賞」を
満遍なく履修できるカリキュラムにしています。